

富津市図書館協議会 会議録

1	会議の名称	令和5年度第1回富津市図書館協議会
2	開催日時	令和5年4月27日(木) 午後2時00分～午後4時00分
3	開催場所	富津市役所5階 502・503会議室
4	審議等事項	(1) 会長および職務代理者の選任について (2) 令和5年度富津市立図書館運営方針 および活動計画について (3) その他
5	出席者名	○出席委員 保坂典江、平 順子、杉田玲子、川口泰明、 長谷川令子、永野弘子、米村志朗、吉田侑季、 伊藤隆男、富井 碧 ○事務局 岡根教育長、平野教育部長、樋口生涯学習課長、 吉村社会教育係長、網代主査、前田社会教育主事、 伊藤社会教育主事 ○(株)図書館流通センター(指定管理者) 瀬戸関東支社長、澤田、小川図書館長
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	0人(定員10人)
9	所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話 0439-80-1345
10	会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

「令和5年度第1回富津市図書館協議会」会議録

発言者	発言内容
<p>事務局 (樋口課長)</p>	<p>皆様、こんにちは。本日は大変ご多用の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。定刻前ではございますが、皆さんお揃いとなっておりますので始めさせていただきます。</p> <p>本日、会議の進行を務めさせていただきます、生涯学習課長の樋口と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>開会に先立ちまして、担当より配布資料の確認をさせていただきます。</p>
<p>事務局 (吉村係長)</p>	<p>○会議資料</p> <p>机上配付：次第、委員名簿、席次表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 会長および職務代理者の選任について</li> <li>・資料2 図書館法、図書館法施行規則、</li> <li>・資料3 令和5年度富津市立図書館運営方針および活動計画について</li> </ul> <p>以上です。ご不備等はありませんでしょうか。</p>
<p>事務局 (樋口課長)</p>	<p>(次第1 開会)</p> <p>それでは、ただいまから、令和5年度第1回富津市図書館協議会を開会いたします。</p> <p>はじめに、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。10名すべての委員に出席をいただいております。従いまして、富津市立図書館条例施行規則第20条第5項の規定により、半数以上のご出席をいただいておりますので会議が成立しています。</p> <p>続きまして、会議の公開についてご説明いたします。</p> <p>富津市情報公開条例第23条第1項の規定により、市民の意見を市政に反映させるために設置する会議で、市民が構成員</p>

に含まれている会議については、法令等に特別の定めがある場合等を除き、公開することとなっております。この規定により、本会議につきましても、傍聴者の受け入れ体制を整備し、会議の議事結果を公表することとしております。なお、会議録作成のため、録音させていただきます。

(次第2 委嘱状交付)

続きまして、次第の2、委嘱状の交付に移らせていただきます。

富津市図書館協議会委員になられました委員の皆様方に教育長から委嘱状を交付いたします。名簿順にお名前を申し上げますので、お名前を呼ばれましたら、その場でご起立をお願いいたします。

(教育長から委員10名に委嘱状を交付)

以上で委嘱状の交付を終了いたします。ありがとうございました。

(次第3 教育長あいさつ)

続きまして、次第の3、岡根教育長よりご挨拶を申し上げます。

岡根教育長

皆さん、こんにちは。ご多用のところ、本協議会にご出席いただきましてありがとうございます。

待望の図書館が4月1日に開館いたしました。この3週間で12,205人の来館ということでございます。貸出人数が5,083人、貸出冊数が15,676冊と伺っています。市民の皆さんの図書館に対する期待の表れと思っています。私達はこの図書館の良さを十分に生かして、市民のニーズに適切に応え、

小回りのきく富津市ならではの特色のある図書館を目指し、年々成長する図書館というものを目指して作っていきたいと思っています。

そしてこの協議会ですけれども、市民の皆さん、市役所、そして(株)図書館流通センターを繋いで図書館を創造する大切な協議会だと思っています。どうぞ忌憚のないご意見をいただきたいと思えます。整いませんがご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局  
(樋口課長)

(次第4 委員及び職員紹介)

続きまして、次第の4、委員及び職員紹介に移らせていただきます。委員名簿の順にお呼びいたしますので、恐れ入りますが、その場でご起立いただき、一言頂戴したいと思います。

…委員自己紹介…

続きまして、職員の紹介をさせていただきます。

…職員の紹介…

(次第5 議題)

それでは議題に入ります。

本来であれば、議事進行については、富津市立図書館条例施行規則第20条第4項の規定により、会長が議長となりますが、本協議会初めての会議ということで、現在、会長が空席となっております。

そのため、会長が選任されるまでの間、仮議長により議事の進行をしたいと思います。仮議長を平野教育部長にお願いしたいと思います。ご異議ございませんか。

各委員	(異議なしの声)
事務局 (樋口課長)	それでは、平野教育部長よろしく申し上げます。
仮議長 (平野部長)	それでは、会長が選任されるまでの間、私が仮議長を務めさせていただきます。 それでは、議題(1)「会長および職務代理者の選任について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。
事務局 (吉村係長)	それでは議題(1)「会長および職務代理者の選任について」をご説明いたします。資料1をご覧ください。 富津市立図書館条例施行規則第20条第1項に「協議会に会長を置き、委員の互選により定める。」と規定されています。職務といたしましては、第2項で「会長は、会務を総理し、協議会を代表する。」と規定されております。 また、第3項に、「会長に事故あるとき、又は欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。」と規定されております。 まず、会長の互選の方法につきましては、条例及び施行規則に規定はありませんが、先例では委員の指名推選による方法がございます。 また、職務代理者につきましては、会長が指名すると規定されています。
仮議長 (平野部長)	ただいま事務局からの説明がありました。 会長の互選の方法につきましては、指名推選としてよろしいでしょうか。
各委員	(異議なしの声)

<p>仮議長 (平野部長)</p>	<p>ご異議のないようですので、会長の選出方法は、指名推選といたします。どなたか、会長の推選をお願いいたします。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>川口委員を推選いたします。</p>
<p>仮議長 (平野部長)</p>	<p>ただいま杉田委員から、川口委員を会長にとの推選がありましたが、他に推選される方はいらっしゃいませんか。</p>
<p>米村委員</p>	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>先ほどの自己紹介でも申し上げたとおり、図書館という専門業務の協議会の会長を担うということは、相応の専門知識が必要だと思います。私も色々と勉強中であり、これから皆さんと2年間お付き合いしていく中で、会長には私達を指導してくれる力量等が求められると思います。</p> <p>委員名簿の選出団体等の項目で校長先生等の経歴が掲載されており、推選する上でその方の経歴等の透明化が非常に重要だと思います。是非皆さんを理解するための情報を提供していただけないか。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>川口委員を推選させていただいた件について、本日が初めての会議ということで、事前に事務局に川口委員も含め委員皆さんの経歴等を伺わせていただきました。</p> <p>その中で川口委員におかれては、元々、公務員や施設利用振興公社では指定管理のお仕事も経験されており、そのような点も踏まえた結果、会長に適任ではないかと思い推選いたしました。</p>
<p>米村委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほどの自己紹介で図書館関係で何をしてきたか等についても紹介できる場があればよかったですと思います。推選された</p>

	<p>川口委員と他の委員を比較する情報も必要だと思いました。学校長を務める保坂委員といった様々な有識者が集まっているので、是非、議論してお互いを知り、共通認識を保有した末に会長を推選する等ができればと思っています。</p>
伊藤委員	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>先ほど、仮議長から指名推選で会長を選任するとありましたが、それについて具体的にご説明いただきたく思います。</p> <p>この富津市立図書館条例に基づいて、この場ですぐに指名で会長を決するという理解でよろしいでしょうか。</p>
仮議長 (平野部長)	<p>先ほど事務局から説明したとおり、富津市立図書館条例施行規則第20条に「協議会に会長を置く」と規定されており、「互選により定める」とありますので、今回、皆さまに決めていただきたいと思います。</p>
伊藤委員	<p>指名推選できるのは委員10名の中からということでしょうか。</p>
仮議長 (平野部長)	<p>資料1の第20条の規定のとおり、「協議会の委員の互選により定める」となっていますので、委員の皆様10名の中から決めていただくものとなっています。</p>
米村委員	<p>互選を行うにあたり、是非、委員のみで10分程度、自己紹介等をする機会も必要だと思います。</p>
岡根教育長	<p>ここで一旦、意見交換の場を設けるのはどうでしょうか。意見交換等していただいた上での選任がよろしいと思います。</p>

<p>仮議長 (平野部長)</p>	<p>教育長から申し入れがございましたが、皆様いかがでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(異議なしの声)</p>
<p>仮議長 (平野部長)</p>	<p>それではここで暫時休憩といたします。 10分後に改めて会議を再開します。</p> <p>(休憩)</p>
<p>仮議長 (平野部長)</p>	<p>それでは、会議を再開いたします。 休憩前に引き続きまして、会長について、どなたを推選いたしますか。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>私が先程、推選させていただいた川口委員にお願いしたいと思います。</p>
<p>仮議長 (平野部長)</p>	<p>それでは、川口委員を本協議会の会長とすることとしてよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(異議なしの声)</p>
<p>仮議長 (平野部長)</p>	<p>ご異議がないようですので、川口委員に本協議会の会長をお願いいたします。会長が決定しましたので、以上で仮議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
<p>事務局 (樋口課長)</p>	<p>それでは、川口会長には議長席へお移りいただきまして、ご挨拶をいただければと思います。よろしく申し上げます。</p>



川口会長	<p>皆さん、改めましてよろしく申し上げます。ただいま会長を仰せつかりました川口と申します。</p> <p>委員の皆さんの中には図書館運営に精通されている方も多い中、私が選出され大変恐縮ではありますが、精一杯、務めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>また、先ほど、教育長からお話があったように待望の図書館が4月1日にオープンいたしました。その中で富津市立図書館整備基本計画を見させていただき、「身近な図書館になる」や「生活の一部になる図書館」という記載がありました。</p> <p>是非、我々全員で協力し合いながら、この協議会を進行していきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願ひいたします。</p>
事務局 (樋口課長)	<p>それでは会議の議長については、富津市立図書館条例施行規則第20条第4項により、川口会長にお願ひいたします。</p> <p>議長におかれましては、職務代理者の選任をしていただくとともに、併せて、会議録の確定方法をご審議いただき、その後、議題(2)についてご審議いただきたく存じます。</p>
川口会長	<p>それでは、議題に従いまして職務代理者の選任を行います。</p> <p>規則により、職務代理者を私から指名することとしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	(異議なしの声)
川口会長	<p>それでは職務代理者につきましては、富津市社会教育委員として図書館整備を検討されまして、また、図書館協議会へは社会教育委員会会議からの代表で選出されました杉田委員が適任と考えますので、杉田委員を指名いたします。よろしくお願ひいたします。</p>

杉田委員	<p>身の引き締まる思いでお受けいたします。 よろしく願いいたします。</p>
川口会長	<p>続きまして、会議録の確定方法について事務局の説明を求めます。よろしく願いします。</p>
事務局 (吉村係長)	<p>それでは、会議録の確定方法についてご説明いたします。 富津市情報公開条例施行規則では、会議録の確定方法について、会議における議決、委員全員による個別の承認、あらかじめ指名された委員等による承認、その他審議会等が定める方法、以上の4つの方法により確定を行うこととされています。3番目に申し上げました「あらかじめ指名された委員等による承認」が一般的に行われております。事務局といたしましては、一般的に行われているこの方法を採用することが適当ではないかと考えております。具体的には、会長が指名した2名の委員の方へ事務局作成の会議録案をお持ちし、ご確認のうえ、ご署名をいただきまして、会議録の確定とするといった方法でございます。 説明は以上です。</p>
川口会長	<p>事務局から説明のありましたとおり、会議録の確定方法につきましては、事務局案を採用し、「あらかじめ指名された委員等による承認」とし、署名人2名の指名につきましては、私に一任させていただくこととしてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(異議なしの声)</p>
川口会長	<p>それでは今回は、保坂委員と、平委員にお願いしたいと思います。 よろしく願いいたします。</p>

<p>川口会長</p>	<p>それでは次に、(2)「令和5年度富津市立図書館運営方針および活動計画について」を議題といたします。</p> <p>事務局より、説明を求めます。</p>
<p>事務局 (吉村係長)</p>	<p>それでは、議題(2)令和5年度富津市立図書館運営方針および活動計画についてご説明申し上げます前に、本日が初めての会議となりますので、はじめにこの富津市図書館協議会についてご説明させていただきます。</p> <p>資料2をご覧ください。</p> <p>この図書館協議会については、「図書館法」の規定に基づき設置されるものでございまして、裏面の2ページをご覧ください。第14条の第1項において「公立図書館に図書館協議会を置くことができる」とされており、第2項に、「図書館協議会は図書館の運営について館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて館長に意見を述べる機関」であることが規定されております。続きまして、3ページをご覧ください。富津市図書館協議会については、令和4年に制定した「富津市立図書館条例」に基づき設置されております。この条例は、第1条にありますように、令和5年4月1日にイオンモール富津内に開館した「富津市立図書館」について必要な事項を定めたものです。第7条第1項で、「図書館法第14条の規定により富津市図書館協議会を置く。」と規定されているところでございます。第2項では、委員は学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者並びに公募による市民、市内で図書ボランティアを行う者のうちから教育委員会が委嘱することとしております。第3項においては、委員の数は10人以内で組織すること、第4項では、委員の任期を2年以内と規定しております。</p> <p>続きまして、4ページをご覧ください。こちらは図書館の運営について定めた「富津市立図書館条例施行規則」でござい</p>

ます。第 20 条で富津市図書館協議会の運営についても規定しております。第 1 項から第 3 項までは、先ほどご説明しましたので省略させていただきます。第 4 項では、協議会は会長が招集し、会長が会議の議長となること、第 5 項では、協議会は委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができないこと、第 6 項では協議会の議事は出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによることをそれぞれ規定しております。以上が、図書館協議会の設置趣旨及び根拠でございます。

続きます。令和 5 年度富津市図書館運営方針および活動計画については、小川館長より説明させていただきます。

事務局  
(小川館長)

資料 3 をご覧ください。

運営方針といたしましては、富津市立図書館は市の北西部、商業と工業の中心地にあり、市の密集地区になります。そのような場所の大型商業施設には様々な人が訪れます。図書館を目的とした人にはそういう目的に即したサービスを展開し、そうではない人にも図書館を体験してもらい、生活の一部として定着してもらえよう運営いたします。

また、図書館から南東に向けて広い地域が展開しています。大佐和地区や天羽地区の方にも、市内の住民全てに「我が図書館」と感じてもらえるように富津市の特性を理解した商業の取り組みを効果的に行って、図書館サービスの向上を目指していきたいと思っております。

2 ページをご覧ください。令和 5 年度の活動計画としましては、こちらの 2 ページから 4 ページに書かれているものを現在計画しております。4 ページに書いてあります「4 月 18 日現在、進行中の事業」に関しましては、現在進めている最中です。市民の皆さんからの関心も高く、小学校や幼稚園の方からお問い合わせを多く受けます。図書館ツアーといった社

	<p>会科見学の受入が大変多くなっています。また、3番の「つくる。まなぼ。あそぼ。」について、こちらに関しましては、イオンモール富津と共同でイベントを計画しているものになります。商業施設の中に入っている図書館ということ进行全面にアピールし、都内などでやっているイベント等を富津市でもできるということをPRとして、イベントを実施していく予定となっております。</p> <p>以上となります。</p>
<p>川口会長</p>	<p>事務局からの説明が終わりました。</p> <p>委員の皆さん、ご質疑等ございますか。</p> <p>最初ということもありますので、疑問に思ったこと等ありましたら、この際質問してみるのもいいかと思えます。いかがですか。</p> <p>保坂委員お願いします。</p>
<p>保坂委員</p>	<p>天羽小学校の保坂です。</p> <p>今回、私の勤務する天羽小学校の児童の図書館学習を受け入れていただきありがとうございます。事前に連絡すれば、おはなし会等もやってくださると聞いています。天羽小学校は図書館から非常に遠距離で、このような機会を快く受けていただけて感謝しています。子ども達もなかなか自分達で行けないので、生涯学習バスを借りて無料で行けることや、借りた本を学校に来る移動図書館「さくら号」で返せるというのは、遠距離の学校にとっては非常にありがたいシステムと思うので、是非今後ともよろしく申し上げますと言わせていただきます。</p>
<p>川口会長</p>	<p>他にございますでしょうか。</p> <p>ご質疑等ないので、議題（2）令和5年度富津市図</p>

	<p>書館運営方針および活動計画については終了いたします。</p> <p>次に議題（3）その他として、委員の皆様から何かございますか。今まで説明を受けたものも含め、今後のこともあると思いますので、何か質問がありましたらお願いします。</p> <p>伊藤委員お願いします。</p> <p>伊藤委員</p> <p>ほぼ毎日、図書館に行っていて、質問としては雑誌についてです。週刊や月刊のものなど色々置いてありますが、まず1点目は雑誌はどのような過程で選択しているのか。</p> <p>2点目としては、雑誌が50冊程度あると思いますが、初めて見るようなマニアックな雑誌も結構並んでいて、具体的には林業の雑誌ですとか、虫の雑誌ですとか、農業は生産者がたくさんいらっしゃるのでもいいかと思うのですが、ニーズがあるのかなっていうジャンルの雑誌も結構並んでいて、逆に一般的に人気のあるような雑誌がちょっと少ないのかなという気もするのですが、今後、雑誌の選択に当たって、市民の皆さんの声とか人気投票とか、そのあたりを図書館、また市として是非検討して行ってほしいと思います。</p> <p>最後に3点目ですが、他の公民館図書室にある雑誌の透明なカバーですが、これには一部市内の会社とかお店の広告が出せるようになっていてと思うのですが、市立図書館では、まだそのような広告カバーが使われていないと思いますが、今後の予定があれば教えてください。</p>
川口会長	事務局お願いします。
小川館長	雑誌の選書に関しましては地域性を重視しています。農業や水産業をされている方が多いとお聞きしまして、そちらを選書しています。また、近隣の図書館と比較しまして、重複しないようにしたり、ちょっと珍しいんですけど手に取って見

	<p>てみると面白い雑誌等もありますので、そういったものを選んでいきます。また、今後の雑誌の種類に関しましては、開館してからお客様から所蔵希望のご意見もいただいておりますので、そちらを集約して今後検討していきたいと思っております。</p> <p>広告のカバーに関しましては、現在募集を行っているのですけれども、まだ応募がないという状況なので、今後応募があれば広告が入るような形になります。</p>
川口会長	伊藤委員、よろしいですか。
伊藤委員	<p>市立図書館ですので、図書も含めて雑誌もそうですが、もうちょっと市民からのリクエストをどうやって汲み取って「見える化」して、全てのリクエストに応えられるわけではないと思いますが、選書の過程を「見える化」して、雑誌や図書を選ぶ理由を公表するのもいいのではないかと思いますし、その辺りの仕組みを検討していただくとよろしいのではないかと思います。現在も独自にいろいろな要素を考慮して選ばれているということは初めて知りましたので、今後は市民の意見を反映できるような仕組みを作っていただきたいと思っております。これは雑誌だけではなくて、他の図書も含めてです。以上でございます。</p>
事務局 (平野部長)	ただいまのご意見は要望ということでよろしいでしょうか。また、選書についても今後、お客様からの要望やアンケート等も検討していくということでよろしいでしょうか。
伊藤委員	はい、よろしく申し上げます。
川口会長	ニーズに応えるというのは非常に重要なことだと思いますので、平野部長の言われたようにアンケート等の策があれば、

<p>米村委員</p>	<p>それをどのような形で進めていくかを示していただければありがたいと思いますのでよろしく申し上げます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>米村委員お願いします。</p> <p>以前、木更津の図書館で小説作家の講演会がありました。満席になるほど賑わっていたのですが、小説家がどのようにして1冊の本を作っていくかという大まかなプロセスがわかるような企画がありました。この富津市立図書館でも、年間行事の中のインターバルで、そういう主催事業を実施していくとか、先ほど説明があった活動計画に関わるとは思いますけど、協議会の運営に関しての意見となってしまいが、次回会議が開催される時は基礎勉強ができるよう事前に資料を配付していただきたい。当日資料を見て意見するのは難しいので、有意義な会議とするためにはそういった運営が必要だと思います。</p> <p>また、先ほど申し上げた、例えば秋の読書シーズン等に合わせて何をしようとしているのか残念ながら見えてこない。私も図書館に極力通うようにしているが、気軽に行ってアンケートを書くとか何かを要望するとか、そういったシステムはありますか。こういう本が欲しいとかではなく、市民の図書館への期待を吸い上げるような、先ほどの質問とも重複するのですが、そういったシステムというのは何かできてるのでしょうか。</p>
<p>指定管理者 (小川館長)</p>	<p>システムはありませんが、館内にご意見箱を設置しております。来館した方が何かご要望やご意見があれば、投函してもらおうというような仕組みはあります。</p>
<p>米村委員</p>	<p>わかりました。先ほど、例に挙げた木更津の図書館のよう</p>



	<p>な企画を真似する必要はないですけど、もっと特色あるアピールをしてほしいと思います。</p>
川口会長	<p>事前の資料配付について、事務局からお願いします。</p>
事務局 (網代主査)	<p>先ほどメールアドレスをお伺いしましたとおり、これからは事前にメール等で資料を配付させていただきますので、よろしくお願いします。</p>
川口会長	<p>他にございますか。富井委員、お願いします</p>
富井委員	<p>要望ですが、会議録が公表される際に今回配られたこの会議資料も公表してほしいと思います。</p>
川口会長 (事務局)	<p>事務局に伺いますが、こちらの資料は会議録と共に公表されますよね。</p>
事務局 (吉村係長)	<p>会議録に合わせて今回お配りした資料も公表いたします。</p>
川口会長	<p>よろしくお願いします。他にございますか。</p>
杉田委員	<p>先ほどから「市民の声を」ということを議論されておりましたが、私からは図書館の情報をこれからどのように伝えていくか、今現在、図書館情報をどのように発信していくのか教えてください。</p> <p>それからもう一つは図書館を応援する会、近隣の図書館でも「図書館友の会」という名称で知っている方もいらっしゃると思いますけれども、「図書館友の会」は全国にあって、名前は特に「友の会」とされなくてもいいようです。私も少し情</p>

	<p>報を得るのに知人等に伺ってきたりしましたけれども、とにかく「図書館を応援する会」、図書館のなかった市ですから、図書館が欲しいと私のようにずっと昔から願ってた人間と、そうでない市民の方々にこれからどうやって利用していただくか、そっちの方向を広げていくためにはという視点から考えると、やはり図書館を応援する、名前は新しい名前があってもいいのかなと思いますけど、今までいろんな図書館にあったような友の会的な内容の応援団が必要かなと思います。どうやってそれを作っていくといいのか皆さんに協議いただければと考えています。</p>
川口会長	<p>事務局で「友の会」のような構想なり考えはいかがでしょうか。</p>
事務局 (平野部長)	<p>ただいまご意見いただいた件につきましては、今後、検討していきたいと思っております。4月1日、2日の日に、「おはなし会」ということで地域のボランティアの皆さんの団体もごございますので、そういった方々のご意見も伺いながら、富井委員もいらっしゃいますので、そういった団体とのマッチングといたしますか、組織の構築といたしますか、本当に運用して実施していただいている皆様方のご意見も尊重しながら進めていければと思っております。</p> <p>事務局といたしましても応援していただけることは非常にありがたいことだと思っておりますので、現在活動しておられる団体の皆さんもいますので、調整を進めていければと考えております。</p>
杉田委員	<p>小川館長から以前に「富津市ってボランティア団体がたくさんあるんですね。」って言葉を聞いて嬉しかったんですね。ですから図書館はなかった分、ボランティア団体が頑張っ</p>

いるところは確かです。それから「こどもと本を結ぶ会」のように、既に活動して形にして、私たちの世代でも参加応援できるように広げてくださる団体もありますし。でも、何らかの団体に関わる方々ばかりではないんですね。私が狙っているところは、要するに図書館は応援したいけど、どこかの団体に所属するとかじゃなくて、何か図書館と繋がってほしい、図書館のこと知りたいし、自分も図書館を使えないけど、どうやって繋がっていったらいいのかなとか。今、富津市は図書館ができたことで嬉しい、そんな感覚もあるんですけど、そうでない人たちをどうやってっていうのを私は思っているところです。ですから、そういう方たちに関心をもってもらう、また関わってもらう、どんな関わり方ができるかはそれぞれ個々にあると思いますけど、積極的に活動されている方のことより、私的にはその水面下を、どうやって裾野を広げていくかという視点で申し上げました。

川口会長

杉田委員、今言われた「応援する会」や「友の会」というのは、他の委員の皆さんが把握してればいいんですけども、具体的にそれはどういう組織なのかちょっと説明していただければありがたいです。

杉田委員

こういう組織っていうのをここで私が言ってしまうと、またそれは何か既存のって言ったらあれですけど、木更津市だったり、君津市の図書館に皆さんご承知のとおり、「友の会」というのが十数年前からあって、「友の会」が存在した上で図書館ができたという経緯があるわけですね。でも富津市は図書館が先にありますから、これをどう育てていくかっていうところの、今私達はまさに第一歩のスタートを切ったわけですけど、これから応援者を増やしていくっていう意味で、例えばどこで声を上げていったらいいのかっていうのをずっと

	<p>社会教育委員である私自身が悩んでいるところなんです。公のところで声を発すると、何か行政が声をかけてるっていうような、ある団体さんが声を発すると団体のカラーで私はちょっとっていう世代が出てきてしまうとか、それを考えたときに、お願いという形ができるのであれば図書館でそういう声を上げていただくっていうのはどうでしょうかというのが私の提案です。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>これは図書館運営に当たって、そういった裾野を広げていくという考え方が必要であるということの解釈でよろしいでしょうか。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>そうですね。色んな立場の色んな方たちが聞いてくださるこのような席で、こういったことを発言させていただいて、それに対してそれぞれがどういう意見をくださるかということも聞いてみたいですし、それを図書館で発信していただくのはいかがでしょうかということも考えていただきたいと思います。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>ただいまのご提案にこの場での回答は難しいと思うので、この件に関しては持ち帰って検討させていただいて、本日はこのような個々のご意見やご提案等に対して委員の皆様方のご意見とかご見解もあろうかと思っておりますので、その辺を議論していただければありがたいと思っておりますがいかがでしょうか。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>それこそ今日は1回目の会議なので、今までの自分たちが図書館の在り方や運営の仕方とか色々調べてきた中で、このような場でご意見を伺うことができました。ありがとうございます。</p>

川口会長	<p>皆さん図書館ということで専門知識をお持ちでしょうけれども、やはり具体的にどう運営していくかという知識というのは人によって違うわけですから、これから皆さんと話し合っていて、同じ共通認識の中で議論していくのが大切だと思います。まずは皆さんで分かり合うということで進めたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
事務局 (前田社会教育主事)	<p>ただいま杉田委員からご意見があった中で、「応援する会」等がこういったものだと説明してしまうと先入観を持たれるということもあると思うのですが、他市の状況等を伺ってみたいところがあります。もし可能でしたら本日、木更津市の元図書館員の永野委員がご出席されておりますので、木更津市ではこうなっているというのがあればお聞かせいただければ大変ありがたいなと思います。</p>
永野委員	<p>木更津市は歴史が古いからですかね、残念ながら「応援する会」も「友の会」もないんですよ。 ご期待に沿えるお話ができなくて申し訳ないです。</p>
杉田委員	<p>それでは、知り得る情報ということで。 例えば、君津市の図書館では、クリスマスの時期になると、子供たちがとても楽しみにしているが飾り付けだとか、図書館の中にクリスマスツリーだったり、七夕のときには願い事の紙が置いてあったりとか、色んなものが飾られていたりとか、何か楽しみにしているものの対象が確保されている。 これから、例えば図書館がこんなことをやりたいって言うときに、今ある団体に呼びかけるとか声をかけるとかは簡単ですけど、それと並行して、「友の会」と言いましたけど、そういう会は個人の人もそこに参加できる、図書館を応援できる、富井委員のご挨拶の中にあっただと思いますけど、</p>

	<p>これをやってほしいと頼まれて何かをするのではなくて、自分たちの中で考えたことを今やらせていただいている。すごい発信力だなと、本当に羨ましいなと思ったり、ありがたいなと思ったりする気持ちでいっぱいなんですけど、図書館ができたので、その図書館に関して市民一人ひとり、個人っていう意味で広げられたらいいなというように私自身は思っています。</p>
<p>事務局 (前田社会教育主事)</p>	<p>それはボランティアの方々もそこに被る場合もあるってことですよね。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>それは皆さんと、でもそれを排除とか何とかってそんな意味合いは今の話に全くなく、もしかしたら団体の方が中心になっているということは、大いにいいことかもしれないです。でも、どこからそれを発信して作ることが望ましいのかなって私の中ではいつも考えてまして、例えば、社会教育委員の中で有志を募ってというようなことも、これは市民の人から見たときにどのように映るのだろうかとか、ある団体にそれをお願いしてって言ったときには、その団体に加入しなくては駄目なのかみたいな声が実際にあったりもするんですね。ですから先ほど言ったように、団体や組織に関わらなくても図書館の応援はできるみたいなそういう会はいかがでしょうか。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>公民館の図書室は、富井委員の団体など各団体の方々に色々な趣向を凝らしていただいて展示とか行っていただいています。そういった方々の力もお借りしまして図書室は運営しております。今回、図書館についても、そのような団体の方々がタッグを組んでやるのもよし、あとは図書館に特化し</p>

	<p>てということであれば、図書館長と相談した上で、富津市図書館のボランティアということで複合的に対応するというような検討等でもよろしいでしょうか。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>どういう形がいいのかを皆さんとこれから協議するのもありだと思います。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>その辺の切り口というか、観点というか、検討の余地といえますか、ターゲットを絞っていくということの方向性でもよろしいでしょうか。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>皆さんとどういう形で図書館を応援する、これから育てていくことの中の一つとして、そういうことを今日は提案させていただいて、それってどんな形にするのがいいのっていうことは、これから皆さんと協議を重ねていければということ。</p>
<p>川口会長</p>	<p>事務局に他市の状況を調べていただいて、事例などを提示していただいて、それを基にこれから富津市としては、こういう形にしようとか皆さんで議論していくということでもよろしいですか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(委員了承)</p>
<p>川口会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、そのような形で進行させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>最後に事務局にお伺いしますが、今回、公募要項を拝見して委員に応募したわけなんですけれども、今後、協議会は年に2、3回程度開催されてどのようなことを話し合うのか、</p>

<p>川口会長</p>	<p>我々はこの協議会を通じて、市に提言するとかだと思いませんけど、スケジュールや協議内容をざっくりで構わないので分かりやすくご説明していただければ助かります。</p>
<p>事務局 (樋口課長)</p>	<p>事務局お願いします。</p> <p>まず、今年度につきましては初年度ということで年4回の会議を想定しております。これは当然ながら委員の皆様の意見を聞きながら何を検討するかというところではありますが、その中でやはり図書館を皆さんが利用しやすいようにする、そして利用者を増やしていくというところが狙っていくところだと認識しておりますので、本日の協議会でお話をいただいたように、例えば雑誌の選び方というご意見もありますし、市民からのリクエストをどう反映していくかというようなご意見もいただいておりますので、そういう中で例えば次の会議の中で、こういう事業をやっていきますというような合意形成であったりとか、また、もう少しこういうことを増やしていったらいいんじゃないかというような色々ご意見をいただきながら利用しやすく使いやすい図書館にしていく、そして多くの方に広めていくというところにご協力をいただきたいというように考えております。</p>
<p>米村委員</p>	<p>今の説明について、例えば今は4月ですから、次回は7月か8月頃の予定だと思うのですが、それまでに10人いる委員の力をどう使うかではないんですけど、次の会議の内容が濃いものにするには今ご説明いただいたものは基本的に抽象的なものだから、具体的なものを我々がどう提案するのか、提案したものも協議するのか、昨日と今日でちょっと景色が違ってくるかな。今年の活動計画が記載されているんだけど、協議会は計画されたものを具体化するのを検討するのか、次</p>



の会議に向けて目標じゃないですけど、具体的に考えて全員が提案を出していくのか、そういうのが積み重ねていくといえますかそういうのがないと。1回目よりも4回目の方が、やはり中身が濃くなっていかなければいけないと思うんですけど、そういうのが今何人かの方から出ている意見の中から、中身、姿が見えないというか、その辺はお前たちが考えることだろうと言われたらそれまでなんだけど、何かを提案していくというか、市民の要望に応えるんじゃないくて、市民の要望もまだ開館して1か月ですから十分に出揃っていないのもありますが、3回目や4回目の会議はどういう景色に変わるんでしょうかね。

川口会長

事務局お願いします。

事務局  
(樋口課長)

米村委員おっしゃったように、まだ我々も手探りの部分はあるかもしれません。そういう中においてお話いただいたように改善点や、やれることもまだあるなというように受け止めております。

先ほど委員から講演会などの自主主催事業なども実施するのかとか、図書館の情報発信をどのような形でやっていくかなどのお話もいただいております。まずは多くの方に使っていただく、またリピーターとして一度来た方もまた通っていただくというところが、図書館の運営していく中でやっていかなきゃいけないことだと思いますし、あと市と図書館とタイアップしていかなきゃいけない、また先ほど議論のあった「友の会」のように応援してくれる方を緩やかに増やしていくというようなことも大事なことだと思います。今回は事務局も宿題をいただいたと思っていますし、また4月に開館して次回の会議までどのぐらいの利用者が来館したのか、どのような意見があったのか、それに対してどのようにアプロー

川口会長	<p>ちしていくのか、そういうこともこの会議の中でご説明をしまして情報共有を図っていければ、少しずつ使いやすい図書館になっていくのではないかとこのように考えております。</p> <p>米村委員よろしいでしょうか。</p>
米村委員	<p>わかりましたというか、よくわかっていませんけど。</p> <p>図書館でガラス張りの入口付近に、例えば4月あるいは5月、6月に何かを実施するような、何かアピールしたものが出ているのかなど、実際に資料を見るとこんなに事業を計画されているんだなということが分かりましたけど、こういう計画をどのように市民に知らせるのか。図書館のガラス張り付近にぱっと認識できるようなものがないというか、可視化されていないというか。皆さん如何ですか。実際に図書館に行って何をやろうとしているのか。これだけ具体的な計画があるのはわかりましたが、先ほど杉田委員からも「友の会」など色々なお話があった中で、個人個人で興味関心は違うわけだから、その中にやはり半年先とまで言わないですけど、そうゆうものがあれば応援してみようかなって言うのが、やはり市民にもうちょっとわかるようにした方がいいのではないかなと感じております。どうでしょうかね。</p>
事務局 (平野部長)	<p>米村委員のお話も含めまして、事務局も先ほど申し上げたとおり、まだ1回目の会議で内容が詰まってない部分もあるかと思えます。委員の皆様方もこの場ですぐに意見を言ってもなかなか出せない部分もあるかと思えます。素朴な疑問点や深い疑問点も持ち帰っていただきまして、また資料の事業計画についてもお読み取りいただきまして、また市民の方とかボランティア団体の方から意見が出た場合には、そういった意見を集約いただきまして事務局にメールしていただ</p>

	<p>いて、次回の会議のときに、事務局の方で調査した上で皆さんにご意見やご見解をいただくようなことではいかがでしょうか。</p> <p>本日、協議会がスタートして次回は7月ぐらい予定しているということですが、3か月間状況を見るということですね。本日、色々と質問とか議論すべきことが出たと思います。その辺をまとめて事務局からメールで情報提供してくれるということなので、そういう形で進めさせていただくということではよろしいでしょうかね。</p>
川口会長	
各委員	(委員了承)
吉田委員	<p>時間も押している中で申し訳ありませんが発言をさせていただきたいです。</p> <p>子育て世代にフォーカスして、ちょっとお願いというか要望が2点あります。</p> <p>図書館ができることを本当に自分自身もすごく楽しみにしてしまっていて、すごく嬉しいなというふうに思っていました。ただ、金谷地区に住んでいるもので市役所に来るにも45分ぐらいかかります。運営方針の中で生活の一部として定着を図りたいというところですけど、やはりこちらから足を運ぶとなると時間と日にちがどうしても限られてしまいます。ですので、富津市全体で謳っている「子育てしやすいまち」というところを踏まえまして、カナリエさんの活用だったり、例えば今はさくら号が金谷地区を巡回してくださっていますが、どうしても保育所の子供たちがお昼寝している時間に回ってきたりとか、どうしても利用させたいなって思うタイミングで難しい場面があります。ですので、図書館一つで完結するのではなくて、市内色々なところで色々な活動とか支援</p>

がありますので、うまく連携を図っていただいて子供と本をより深く結んでいけたらいいなというようお願いというか要望です。カナリエさんの活用とさくら号、図書館で借りた本をさくら号で返せるのに返すタイミングの時間にバスがないとか、やっぱりそういうこともあるので、図書館だけでなく色々な方面の連携を図っていただけたら、子育て世代としては非常にありがたいなと感じています。

自分の子供も本が好きですので、たくさんの企画をしてくださっておりますので、まず、例えば自分の子供が通っている保育園にこういうのがあるよとか周知していけたらいいなと。それで足を運んでもらう、知ってもらおうということを次の協議会までの間にできたらいいなというふうに私は考えております。よろしくお願ひします。

川口会長

事務局、今意見が出ましたけれども、いずれにしても次の会議まで3か月、図書館の状況もそうですし、今の吉田委員が言われたように図書館に限らず全体的なもの、その辺も含めて検討していただいて次回、お願いしたいと思ひますがよろしいでしょうか。

事務局  
(伊藤社会教育主事)

移動図書館のお話がありましたので少し説明させていただきます。確かに巡回のタイミングが合わないということはございますけれども、一応全ての小学校を回るように努力はしています。今年も大貫小学校にもというご要望がありましたので追加したところですが、図書館車が1台しかございませんので、火曜日と木曜日の限られた時間、学校については児童が利用できない時間帯は行けないので、昼休み又は業間休みの長い休み時間にしか回れないということで、実は大貫小学校を追加するに当たっては、飯野小学校が今まで月2回だったのが月1回と我慢していただいているところもありま

	<p>す。それから青堀小学校は図書館の地元ですので、そちらを活用いただきたいということで今は巡回していません。このような移動図書館の稼働に余裕がない状況の中で、今後の対応を検討していたところ、指定管理者の活動計画にもございますように、資料3の22番の事業ですが、「LiBOON (リブーン)」という軽自動車型の配送車の配備を予定していますが、現在、半導体の影響で納車が遅れておりますけれども、数か月後には運用開始するので、委員からご意見のあった内容を反映していければと考えております。</p>
川口会長	<p>検討していただけるということでよろしく申し上げます。</p>
杉田委員	<p>資料3の活動計画の中で、11番に「図書館だよりの発行」があります。どのように図書館が情報発信をしていくのかというところで、こちらは是非やっていただきたいと思います。</p> <p>それから、先ほど吉田委員からも意見が出ておりましたので関連して発言しますけれども、図書館への交通手段の問題、先ほどの話と同じで、図書館の中のことだけ話すんじゃなくて、どうやって人を呼ぶかっていうことに関係してくると思うんですけれども、やっぱり駅から学生さんとか、それから小学生とかにどんどん来て欲しくても、親御さんが連れてこないと来れないよね、みたいなところがあります。そういったところをどのような方法を考えるかというところで、例えば、学校が長期休みの時、春休み、夏休み、冬休みの間はスクールバスは運用していないと思いますが、そちらの活用はどうなのでしょう。</p>
事務局 (樋口課長)	<p>スクールバスについては、生涯学習課所管ではないのですが、目的、時間と限られた条件の中で年間何回までと運用できる契約をしておりますので、自由に使えるというものでは</p>

<p>杉田委員</p>	<p>ないというところがございます。</p> <p>例えば保護者の方があらかじめ指定した日にちと時間と場所がわかっているならば利用できるといったような運用はありますか。</p>
<p>事務局 (樋口課長)</p>	<p>生涯学習課所管で生涯学習バスがあります。</p> <p>先ほど保坂委員が言っていたように、天羽小学校で利用してもらったり環小学校で利用してもらったり、各学校単位とか、また保育所なども図書館ツアーのような形で、児童生徒を連れて利用していただいております。そういうことで、遠い地域の方も利用していただくということで、そのようなお声かけをさせていただいた中で、各学校や保育所でそのように動いていただいているということは非常にありがたいと思っております。</p> <p>もう一点ですが、バスという意味では、青堀駅からはイオンモール富津線で青堀駅からイオンモール富津までのバスがあります。確かにお金はかかりますが、そちらのバスも運行しておりますので、そういう利用もしていただければと思います。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>川口会長</p>	<p>それでは会議時間も延びていますので、繰り返しになりますけども、事務局は今日の会議内での質問等をまとめて、次回会議でお願いしたいと思います。また各委員については、本日配付された資料の内容で質問があれば、メールで事務局へお願いします。事務局はまたその質問を次回会議で報告するとともに回答をしていただければありがたいと思います。</p> <p>委員の皆さんよろしいですか。</p>

各委員	(委員了承)
川口会長	最後に事務局の方から何かございますか。
事務局 (吉村係長)	<p>それでは事務局から今後の会議日程についてご案内させていただきます。次回会議は7月を予定しております。その後は、10月、2月と、本年度は計4回を予定しております。</p> <p>詳細な日にちについては、改めて通知等を出させていただきますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
川口会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして全ての議事を終了といたします。円滑な議事進行に皆さんご協力いただきましてありがとうございました。</p> <p>それでは進行を事務局にお返しします。</p>
事務局 (樋口課長)	<p>川口会長、議事進行ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様におかれましては、長時間にわたり誠にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして令和5年度第1回富津市図書館協議会を閉会といたします。</p> <p>おつかれさまでした。</p>